

「原発ゼロ」は、やはりつかの間の夢となるのか。野田佳彦首相の最終判断時期が迫る関西電力大飯原発3、4号機（福井県おおい町）の再稼働。政治プロセス、安全性、橋下徹・大阪市長らの動き……あらゆる面で疑問は残ったまま。3人に聞いた。

【戸田栄、藤田祐子】

いかに なものが

不真面目な見切り発車

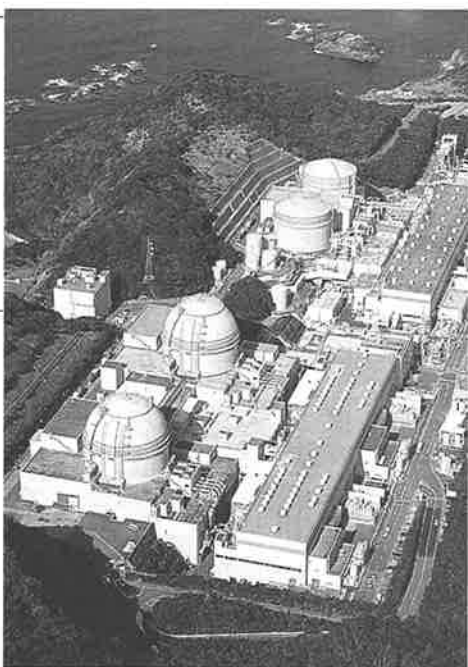


面目な考えというほかない。福島原発事故で最悪のシナリオをたどれば、首都圏が壊滅状態に陥った可能性があまりあります。であれば、電気不足と引き換えに見切り発車するよう

ラントそのものは元のままで、すから、最初の設計値から全体の強度を引き上げるには限界があります。まず、そこに大きな問題がある。地震や津波、事故進行状況など想定の外を裏とした免震棟について言えば、本気で取り組めば、もっと早く作れるはず。要は真面目に事故の可能性に向き合っていないのです。設計上の想定を超える地震

な悪さをやるかわからない。1次評価段階で安全性が確保されたとは言えません。2次評価では、対象の原発で炉心溶融が起きると、住民の被ばくを含め、どんな被害が出るかが分かります。そこで、原発の危険を市民がよく理解してから、再稼働の是非が議論されるべきです。

「再稼働」判断



福井県おおい町の大飯原発（手前）4号機、3号機、2号機、1号機―本社ヘリから幾島健太郎撮影

小手先の対策をいくつか実施し、ストレステストの1次評価に合格しただけで「安全性は確保したから大飯原発を再稼働していい」とは、不真

後藤政志さん 設計技術者

なことはないでしょう。発生する地震や津波の想定を大きくし、原子力プラントの弱点を補強する形の対策は進められました。しかし、プ

仕方も通りいっぺんで、複合災害となろう事態への対応策として十分ではありません。補強した対策にしても、免震棟やフィルター付きベントの設置は15年度だといいますが。現にあるその対策でしよう。福島事故で大きな役

ごとう・まさし
元東芝社員。原子力資料情報室アドバイザー。芝浦工業大、国学院大非常勤講師。NPO「APAST」理事長。62歳。



賛否 選挙で問えばいい

早くダメなものには見切りをつけて、次のものに転換していくべきだと思う。まだ福島原発事故は終わっていません。原子力災害の被災者に賠償する法律も、賠償金の拡充などの改正ができていない。現時点での大飯原発の再稼働

には反対です。いつまでに脱原発を図るかロードマップの提示も重要

です。政府が原子力政策の方向性を定めせず、その場しのぎで動かすのはおかしい。また野田佳彦首相は「再稼働は私の責任で判断する」と発言していますが「責任

は、フクシマ後の今、原発を動かす継続しようとすることに無理があるのです。政府が原発を止められない理由として、停止した途端に資産だった原発が不良債権に

は、過去の誤った国策と決別する覚悟です。

衆院議員 辻元清美さん

の中身が分からなかった。再稼働は、国民のコンセンサスが必要な課題となっているのです。

もう一度、原発事故が起きたら、日本は本当にだめになる

なって全国の電力会社が債務超過に陥り、経済が混乱するからだという話があります。また、原発輸出関連企業は米企業と合併するなど関係を深めていて、日米関係から急な

つじもと・きよみ
菅内閣で災害ボランティア担当の首相補佐を務める。NGO「ピースポート」を創設し、市民運動を経て国会へ。52歳。

特集ワイド

大飯原発再稼働問題で、うんざりさせられたのは地元関西の首長たちの迷走です。当初、強く反対していた橋下徹・大阪市長は5月末になって突然、事実上の容認に転じました。電力会社を悪者にしてエエカッコした揚げ句、頑張ったけれども押し切られたと格好をとりつくるおうちしているのが見え見え。「正直、負けたといえれば負けた」などの発言には本当に腹が立



首長の迷走にうんざり

を人気取りの手段としか考えていない。松井一郎・大阪府知事だって、広域連合の合意後も「容認も理解もしていない」と「賛成した」という批判か

シップを示せなかった。実は2年前に妻が転倒事故で頸椎を損傷し、兵庫県の自宅で今も24時間介護です。電動ベッドを動かせなくなったら寝返りも食事もできない

的な再稼働、そして原発の段階的廃止というのには、やむを得ない着地点ではないかと思っています。原発そのものには一貫して反対してきたし、今もそう

める自民党の原発推進路線にも大きな問題があった。エネルギー政策は命の根幹にかかわる問題。選挙向けのポーズや目先の人気取りに走らず、本質的な議論をしていただきたい。

つ。政策判断は勝った負けたじゃないでしょう。電力問題

ら逃げるためのあいまいな発言に終始した。「環境知事」を売りにする嘉田由紀子・滋

し、冷暖房がなければすぐに体調を崩してしまう。正直、今の我が家には原発よりも停

す。処理の困難な放射性廃棄物が出るという技術的側面に加え、立地自治体（電源立

くどう・なんりょう
阪府立大大学院修
三代目南陵入門、
四代目襲名。参院議
期。大阪芸大客員教
62歳。